

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

稲刈りが済んだ耕作地の上空にトンボが乱舞する時季だが、全国的にはトンボの減少が著しいとの情報だ。トンボは田んぼの害虫を

食べることから「田の神」と呼ぶ地域もある。涼やかな秋風と野の香りが吹き込んでくるようなトンボが乱舞する故郷の情景を残したいものだ。
19都道府県の緊急事態宣言と8県に出ているまん延防止等重点措置が9月末で解除された。これまで新型コロナウイルスへの対応で、強い行動制限で感染を封じ込める「ハンマー」と、感染防止と経済回復とのバランスをとる「ダンス」の繰り返し替えしだったため、「ハンマー&ダンス」のたとえ用語が誕生したほどだった。

陰暦の9月の晦日は、全国八百万の神々が出雲に向けて旅立つのを送る神事の日でもある。神送りには禍の神を追い払う意味もある。新型コロナウィルスという厄病も

コロナ禍では異論を取り込む懐の深さが大切だ

「行ったか」という質問に93・4%が「行ってない」と答えた。報告したが、時間的制限はあるが飲食店等での酒類の提供も可能となり、我慢を重ねすぎた反動がどの様な形で現れるか心配になって

民の命と生活を守る行動をこの様にして行くか改めて一人一人が考える時期なのかもしれない。
コロナ禍で困窮する生活実態の情報が多く聞かえてくる。「貯蓄ゼロの世帯の割合」が

山田耕筈さん作曲の「赤とんぼ」夕焼、小焼のあかとんぼ」とまっているよ、羊の先」と思わず口ずさんでしまっ。

影響でその数値の増減が今後の日本経済にどの様に影響するのかわ見守るべきなのだろうか(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)

